

平成27年度 行政評価の取組結果（技術監理局）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施															【Check】 評価 / 【Action】 改善				
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）				H27年度		H26年度		人件費（目安）		H27年度				H29年度予算要求に向けた施策の方向性
					指標名等	現状値（基準値）	H26年度	H27年度	中期目標	予算額（千円）	決算額（千円）	決算額（千円）	金額（千円）	職位	人数	事業評価	評価の理由	局施策評価	
I-2-(3)-② 技術・技能を継承する人材の育成	1	明日の公共事業を支える人材確保・育成事業	技術企画課	建設業の若年就業者の減少により、インフラの維持管理に関する担い手不足が懸念されるなか、建設技術の魅力を発信し、公共事業への理解をより深めることで、将来にわたる建設業の人材確保・育成を図る。	建設業に対する関心度（イベント参加者アンケートによる）	70%	70%	70%以上（H29年度）	2,800	1,797	2,456	5,400	課長 0.10人 係長 0.20人 職員 0.30人	順調	イベント参加者の97%の方に建設業について興味を持っていただくことができたことから、事業は順調であると判断	順調	【評価理由】 本事業により、イベント参加者である若者に建設業への興味を持っていただくことができており、順調であると判断。 【課題】 今後も継続して事業を進め、さらに多くの方々に本取組を知っていただき、建設業に興味を持っていただくことが課題。	建設業の魅力アップに向け、引き続き、建設業に関するイベントを通じて建設業の魅力を伝える地道な広報活動が必要であり、H29年度も継続して実施。	
III-3-(3)-③ 企業の地域活動への参画促進	2	【施策評価のみ】競争入札参加資格業者に対する加点制度	契約制度課	【施策の内容】 本市の物品等供給契約や建設工事における競争入札参加資格において、地元企業の地域での社会貢献活動（子育て支援、男女共同参画、障害者雇用、環境配慮、防災活動など）を評価し、格付けの際に加点することにより、契約制度の面からも本市重要施策の推進を図る。	【施策の指標】 本市の物品等供給契約入札参加資格業者総数に対する評価対象事業者数の割合	22%（H26年度）	24%	24%（H29年度）	—	—	—	—	課長 1人 係長 1人 職員 1人	—	—	順調	【評価理由】 ほぼ目標値に近い数字またはやや上回る数字であるため、概ね順調と判断する。 【課題】 地元企業に対し、社会貢献活動による加点について、より広く周知していくことが課題である。	引き続き加点制度を実施する。	
V-3-(1)-① 都市基盤・施設の適正な整備	3	公共工事安全対策強化事業	検査課	市が実施する公共工事の安全対策強化のため、安全指導を専門とする公共工事パトロール隊を設置し、事故の抑制を図る。	市発注工事における事故件数	15件（H26年度）	14件以下	13件（H29年度）	1,193	836	1,160	42,900	課長 0.10人 係長 1.10人 職員 4.10人	やや遅れ	不安全個所の改善について、監督員及び受注者への指導育成が図れたことは評価できる。一方で、昨年度に「事故を起こした場合の工事成績評価の見直し」を行い、小さな事象でも報告を上げるようにしたため、数値目標である事故件数が増加した。以上により、「やや遅れ」と判断した。	やや遅れ	【評価理由】 不安全個所の改善について、監督員及び受注者への指導育成がより多く出来たことは評価できた。 【課題】 点検件数について、月毎のバラツキが生じていることは、課題と考えている。	昨年、20回（約2,000人）の出前講演「品質確保と安全対策」を行っており、今後は出前講演において安全対策に重点を置き、更なる周知徹底を図る。	
VI-3-(3)-② 建設リサイクルの推進	4	【施策評価のみ】建設リサイクルの推進	技術企画課	【施策の内容】 北九州市発注の公共工事を対象に、建設副産物の発生抑制や建設廃棄物の再資源化の徹底、再資源化された建設リサイクル資材の利用促進に取り組む。	【施策の指標】 建設廃棄物の再資源化率	95.0%（H27年度）	95.0%	98.0%（H30年度）	—	—	—	—	課長 1人 係長 1人 職員 1人	—	—	順調	【評価理由】 昨年度に引き続き平成27年度も目標を達成しており、順調であると判断。 【課題】 今後も継続して事業を進め、より広く周知していくことが課題。	昨年度に引き続き、建設廃棄物の再資源化率の目標達成を目指す。	